



2024年3月15日

各位

会社名 株式会社ジーエヌアイグループ
代表者名 取締役代表執行役社長兼CEO イン・ルオ
(コード番号: 2160 東証グロース)
問合せ先 執行役最高戦略責任者 北川 智哉
(TEL. 03-6214-3600)

最近いただいたご質問とそのお答え

平素より当社事業へのご支援を賜り、誠にありがとうございます。投資家様よりいただきましたご質問とその回答について、下記の通り開示させていただきます。なお、本開示は情報発信の強化及びフェアディスクロージャーの観点から開示するものです。

Q:MASH(代謝障害関連脂肪肝炎)*に関する糖尿病治療薬の有効事例や Madrigal Pharmaceuticals, Inc. (以下「マドリガル」)のMASH治療薬承認など、競合他社の動向についてどうお考えでしょうか?

A:糖尿病に対する治療薬がMASHに有効な可能性があるという話は以前からありましたが、昨日、マドリガルが開発した薬がMASHに対する治療薬としてFDA(米国食品医薬品局)に承認されました。MASH患者に対して承認された初めての治療法であるため、当社はこの素晴らしいニュースを歓迎しております。

MASHは肝臓の炎症性疾患です。現在当社が開発しているF351は、中国における慢性B型肝炎による肝線維症という異なる適応症のためのものです。また、米国ではMASHに起因する線維症患者への使用も初期段階で検討されております。当社グループは、中国におけるF351の第3相臨床試験の被験者登録も完了しており、2024年に臨床試験が完了する見込みです。

NMPA(中国国家薬品监督管理局)で承認された場合、中国やその他多くの発展途上国の国民病である慢性B型肝炎に起因する肝線維症に対する初めての有効な治療薬となります。

*:MASHは以前NASH(非アルコール性脂肪肝炎)と呼ばれていた疾患の病名が変更されたものです。上記日本語訳は仮称です。

以上